

第616回番組審議会報告

2017年3月7日開催

■出席委員

櫻井美幸委員長 佐藤友美子副委員長 佐藤卓己委員 津村記久子委員
中野健二郎委員 東野博昭委員 細見良行委員 丸山雅也委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田取締役 宮田取締役 浜田取締役
虫明ラジオ局長 竹田編成局長 大牟田コンプライアンス室長兼番組
審議会事務局長

◆議事の概要

平成28年度最終の審議会となるため、個別の番組の審議ではなく、「MBSの番組・放送全般」について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- * 「ちちんぷいぷい」は出演者の発言がみな誠実で、嫌なニュースもこの番組の空気を介することできちんと耳に届く。
- * 「ヤングタウン日曜日」では、笑福亭鶴瓶さんをはじめ一人ひとりの話が明確で聴きやすい。相手の話を尊重し、プロの技でどんどん聴かせていくというラジオならではの話芸にすごくひきつけられる。
- * テレビのリアルタイム視聴が減って、代わりにスマホで配信番組などを見る人が多くなっている。番組内容はもとより、それ以前に番組という“箱”の届け方を考えないといけない時代だ。
- * 俳句や水彩画などを取り上げてバラエティーに仕立てた「プレバト！！」は企画力のなせるわざ。ますます切れ味鋭い夏井いつき先生ほか、個性あふれる先生方が魅力的だ。
- * 健康をテーマにした情報番組で都道府県を順位づけすることがあるが、1位と47位の間にどれだけの差があるのかわからない。その差が不明確なまま番組が進行していくことに違和感がある。面白さ、分かりやす

さを優先した番組づくりになっていないか。

- * 月1回のドキュメンタリー「映像'17」は力作、秀作が多いのに、深夜でなおかつローカルのみ放送というのはいかにも惜しい。もっと多くの人に見てもらうため、ウェブ配信などの工夫はできないのか。
- * 「ちちんぷいぷい」はローカル感が一番の売りだ。国内外で大きなニュースが起きたときでも、番組の最初ぐらいはあえて他局とは違う独自のローカルネタを取り上げてほしい。
- * 「戦え！スポーツ内閣」は個性あふれる出演者の話のディテールが面白く、選手や競技そのものをいっそう魅力的にしている。見応え、聞き応えがあるスポーツトーク番組だ。
- * 「子守康範の朝からてんコモリ！」は、パーソナリティーの少し毒のあるツッコミと相方の女性アナウンサーとのやりとりに親しみが持てる。
- * 「林先生が驚く初耳学！」では最近、本当に瑣末な問題、たとえ知っていたとしてもうんちくが語れないような出題が目につく。林先生の知識、知恵が聞きたいのだが。
- * 「京都知新」は一つひとつの映像がすばらしく、ナレーションもゆったりしていて日曜の朝にふさわしい。ただ、やや映像を詰め込み過ぎている印象だ。
- * テレビは目の前の視聴率にとらわれすぎることなく、長期的な目標、つまり視聴者目線を大切にして「MBSなら見よう」という信頼、評価を得ることを目指してほしい。